安　全　の　し　お　り



令和8年10月1日
通算第371号
安全・適正就業委員会

【安全は 無理せず焦らず　油断せず】・【草刈機　飛ばす小石は　危険球】

■ 講習会のお知らせ

応急・救急対応講習会

野田市消防本部の方を講師としてお招きし、心肺蘇生やAEDの使い方、けがの手当て応急手当等の知識や技術を習得していただけるよう開催します。なお、昨年同様に施設内での対応を想定した内容となっております。公民館、福祉会館、船形多世代交流センター、老人福祉センター、青少年センター、勤労青少年ホーム、福田体育館、旧花野井家住宅、鈴木貫太郎記念館、関根名人記念館など、利用者が施設を使用する貸館業務や市民と相対する業務に就業している方は、必ず受講してくださいますようお願いいたします。

なお、定員数や日時の都合がありますので、今回受講できなかった場合でも、次回の開催では参加をお願いいたします。

日　時	令和　8年　10月　26日（月） 午前　10時　～　午前　11時　30分
場　所	中央公民館　1階　会議室
内　容	・心肺蘇生やＡＥＤの使い方 ・けがの手当て、応急手当 ・施設管理業務における地震、火災等の災害時の対応（利用者の避難誘導）など
定　員	20名予定　（定員になり次第、締め切りになります。）

■ 熱中症は曇りの日でも危険　日差しがなくても対策を

熱中症に注意が必要なのは、晴れて暑い日だけではありません。

暑さをもたらす一番の原因は日差しですが、熱中症を引き起こす原因は日差しと湿度であり多湿の日は日差しがなくても熱中症なりやすいので、曇り空の日でも注意が必要です。

体は体温が上がり過ぎると、汗をかいて体温を下げようとしますが、湿度が高いと汗が蒸発しにくくなり、体温がうまく下がらず、体の中に熱がこもってしまい、その結果、体の不調が起こります。熱中症が重症化した場合、体の痙攣、力が入らない、意識が朦朧する等、直ちに救急車を呼ぶ必要がある場合もあります。

熱中症予防には水分補給と暑さを避けることが大切ですが、更に気をつけるべき点として喉が渇いていなくても、小まめに水分・塩分を補給しましょう（例　1時間ごとにコップ1杯、入浴前後や起床後）。特に屋外での作業の場合は、より注意してください。

暑さのピークは過ぎましたが、気温や湿度の高い環境下では熱中症になるリスクがあります。初期症状を見逃さず、日常生活の中からできる対策を心掛けましょう。

■ 事故状況

9月17日現在、傷害事故5件、賠償事故3件の計8件の事故が発生しております。既に昨年度の年間5件を上回っております。引き続き、就業中、就業途上の事故に気をつけてください。また、物損事故についても同様に安全や事故防止（刈払作業時の防護ネット等）を最優先に就業をお願いします。

令和8年8月現在

令和8年度		令和7年度（同月比）	
傷害	5件 就業中　4件 就業途上　1件	傷害	3件 就業中　3件 就業途上　0件
賠償	3件	賠償	0件
合計	8件	合計	3件